

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	でいさーびす あいりんご3		
○保護者評価実施期間	R7年 2月 1日		R7年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	4人	(回答者数) 4人
○従業者評価実施期間	R7年 2月 1日		R7年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6人	(回答者数) 6人
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 3月 19日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	◎年齢層の近い児童同士の交流 当施設には年齢が近い児童が多く、同年代の子ども同士で自然にコミュニケーションや協力が行われる。 これによりに集団行動や遊びを通じて一体感が生まれ児童同士の関係が深まる環境が整っています。	◎多様な障害に対応した活動内容の提供 利用者の障害の程度が様々であるためあらゆる児童に対応できるような活動内容を計画・実施しています。 個別のニーズに合わせた活動を提供し全ての児童が安心して参加できるよう配慮しています。	◎個別発達支援プランの強化 利用者一人一人の発達段階に応じた個別支援プランを更に詳細に策定し適切な支援を提供しています。定期的にプランの見直しもを行い成長に応じた活動やサポート内容を柔軟に変更する事で児童の発達を効果的にサポートできる体制を強化します。
2	◎異年齢児童間での交流サポート 異年齢の児童同士が積極的に交流し上級生が下級生をサポートする場面が多く見られます。 このような協力活動を通じて児童一人一人の社会性や協調性が向上しています。	◎職員間でのフォローと個別サポート 個別にサポートが必要な利用者も多いため職員間でフォローしながら業務を進めています。 これにより、より細かな支援が可能となり利用者一人一人に適切なサポートを提供しています。	◎保護者との連携強化 保護者との定期的なコミュニケーションを積極的に行い家庭での様子や児童の成長に関するフィードバックを収集しています。 これにより、家庭と施設の支援が一貫性を持ち児童へのサポートの質を向上させる事を目指します。
3	◎障害のある利用者への個別サポート 障害の程度が様々な利用者に対して個別のニーズに応じたサポートを提供しています。 適切な支援を通じて、利用者が安心して活動に参加できる環境を整えています。	◎児童の安全を最優先 弊社は、外出活動が多く、強みとなっておりますが外出の時には児童の安全を最優先に考え怪我や飛び出しのリスクに迅速に対応できるよう職員の配置を考えています。また、児童一人一人の能力差に配慮し職員が適切な距離で付き添いながら必要なサポートを提供しています。	◎職員の研修とスキルアップ 職員の専門性を高めるために定期的な研修を実施しています。研修内容には障害に対する理解やサポート技術を向上させるものを含め異年齢交流や個別サポートに関するスキルアップを図りより効果的に児童一人一人に対応できるようにします。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	◎バリアフリー化が進んでおらず 身体に障害を持つ利用者や支援する職員が不便を感じる場面が多い。 また、施設内の部屋が狭く、利用者が多い場合には動きにくさを感じる事があるため、改善が必要である	◎施設の物理的な構造がバリアフリー化を進めるにあたって予算や工事にかかる時間が大きな障壁となっている。	◎バリアフリー化の計画を段階的に進め必要な改善を優先順位をつけて実施し予算の確保を進める必要がある。
2	◎保護者同士の交流や児童クラブ・町内会との接点が少なく地域社会との繋がりが希薄な状況が見受けられる。	◎地域住民同士の交流機会の不足によりコミュニケーションの場を作るための資源や手段体制が不十分である。	◎地域の保護者同士の交流や町内会との連携強化のため定期的なイベントやコミュニケーションの場を設けることが重要。
3	◎就学前の幼稚園や保育園との情報交換や連携が不足しており子どもの成長における連続的な支援が難しい。	◎就学前施設との連携において異なる教育方針や情報共有の不備が影響しスムーズな移行が難しくなっている。	◎就学前の施設との情報交換を円滑に進めるため定期的な会議やワークショップを設け教育内容や支援方法を共有する仕組みを作るべきである。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 せいさーびす あいりんご3

公表日 R7年 3月 26日

利用児童数 4人

回収数 4人

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない			
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	50%	0%	0%	50%	部屋が分かれており しっかり活動できていると思う。	スペースを有効活用しながら 支援していきます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	50%	0%	0%	50%	見学の際にしか見ていないので 分からないが、適切だと思う。	職員配置を意識しながら 支援していきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	50%	0%	0%	50%	荷物を置くロッカーが整理されており 子供でも荷物の整理をしやすと思う。	障害特性にあつて設備 を充実させていきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	50%	0%	0%	50%	見学に行った際は しっかり整理整頓されており 清潔だと感じた。	整理整頓を心掛け、 子ども達が過ごしやすい環境 を作っていきます。
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	苦手な事を伝えると すぐに対応してくれる。	今後も子どもたちの特性や状況に応じた 支援を継続して行います。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	50%	0%	0%	50%	合っていると思う。	支援プログラムと支援内容 を一致させながら支援 していきます。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	要望に沿った内容で 作成してくれている。	要望に沿った内容で 作成していきます。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	0%	50%	0%	50%	分からない。	児童発達支援計画に必要な項目を 選択し、そのうえで具体的な支援 内容を設定し共有していく。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	しっかりされていると思う。	児童発達支援計画に沿った 支援を引き続きしていきます。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	毎日、行くのを楽しみしており 毎朝、今日の活動について聞かれる。	今後もチーム一丸となり 季節の行事や子どもたちの心に残る 楽しい催しを企画します。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	0%	0%	0%	100%	分からない。	地域の保育所や幼稚園等との 交流を図る機会を設けていきます。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	100%	0%	0%	0%	分かりやすく丁寧に説明していただき 是非、通いたいと思った。	今後も丁寧で分かりやすい説明を心掛け 契約時だけではなく その後もご不明な点があれば いつでもご連絡いただけるよう対応します。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	100%	0%	0%	0%	分かりやすく説明してくれている。	更新ごとに児童発達支援計画の 説明をしっかり行っていきます。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	0%	0%	50%	50%	家族等が参加できるような事は 行われていないと思う。	家族等が参加できるような 機会を設けていきます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	50%	50%	0%	0%	送迎の際に活動の様子や子供の様子を 必ず教えてくれており 些細な事でも連絡をくれる。	送迎の際の伝達を引き続き しっかり行っていきます。 連絡も密に取っていきます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	0%	0%	50%	50%	面談等はないが 相談をした際には対応してくれる。	相談できるような体制づくり、 迅速な対応を引き続き 行っていきます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	してくれている。	子どもはもちろん家族にも 寄り添った支援を 行っていきます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	0%	50%	0%	50%	聞いた事が無いので分からない。	今後は取り入れていけるようにします。
19	こどもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	100%	0%	0%	0%	いつも迅速に対応してくれる。	相談や申し入れをしやすい 体制作り、迅速かつ適切な対応 を引き続き行っていきます。	

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	連絡をマメにしてくれるので安心できる。	引き続き連絡を密に取り合い安心して通所してもらえるようにしていきます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	0%	50%	0%	50%	ブログやインスタでは発信している。	SNS、ブログを引き続き定期的に発信していきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	0%	0%	0%	100%	分からないがしてくれていると思う。	個人情報の取り扱いには注意を払っている。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	0%	50%	0%	50%	周知はされていないので分からない	マニュアル等の周知、想定した訓練の様子を発信していきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	0%	50%	0%	50%	避難訓練はしている。	今後は、避難訓練等の実施状況について積極的に発信します。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	0%	50%	0%	50%	分からない。	子どもの安全を確保するための計画を周知し、安全を確保しながら支援を行っていく。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	出先で嘔吐や怪我をした際にすぐに連絡をしてもらえた。	親御様にも安心していただけるようトラブル等が発生した際には事後報告ではなく速やかに連絡を行いしっかり状況説明を行います。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	100%	0%	0%	0%	学校での様子は教えてくれないのにあいりんごの様子は毎日、帰ってから教えてくれる。	今後もどのお子様にも安心感を持ってもらえるよう努めます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	100%	0%	0%	0%	毎日行くのを楽しみにしている。	今度も子供たちが「行きたい」と思える場所であり続けるよう努めます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	100%	0%	0%	0%	とても満足している。	今後も利用者様にご満足いただけるようなサービス提供に努めます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		でいーさーびす あいりんご3		公表日		R7年 3 月 26 日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	83%	17%	適切な人数配置ではあるが活動内容によっては狭く感じる事もある。	人数配置を意識しながら活動内容によってスペースの使い方を工夫していきます。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	83%	17%	毎日の申し送りの際にその日の利用児の状態や人数に応じて配置や役割を決めている。	引き続き人数配置を意識しながらより良い支援をしていきます。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	33%	67%	階段には手すりがあるが玄関はバリアフリー化されていない。視覚的援助が少ないため絵カードがあった方がいい。	絵カードの作成やスローパーを活用して過ごしやすい環境を作っていきます。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	67%	33%	毎日掃除の時間を設けており清潔に保たれている。	整理整頓を心掛け、清潔を保てるようにしていきます。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	その都度、児童からの申し出や状態に応じて部屋を確保して対応できている。	児童からの申し出や状態に応じて適切な環境作りをしていきます。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	100%	0%	日々の申し送りや個別会議などで情報を共有できる機会がある。	引き続き申し送りや会議で情報を共有していく。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	毎年アンケートを行っておりご意見に対して今後の改善に活かしている。	引き続きアンケートを行い改善しながらより良い事業所にしていく。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	定期的に面談を行い意見を伝える場が設けられている。	引き続き定期的に面談を行い頂いた意見を支援に活かしていく。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	50%	50%	改善する必要がある場合は速やかに対応している。	引き続き改善点は迅速かつ適切に対応していく。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	定期的に研修を受け報告書の作成に努めている。	引き続き定期的に研修に参加し、支援に活かしていく。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%	支援プログラムを作成し保護者の方へ公表している。	支援プログラムの作成、公表を引き続き行っていく。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	児童の日々の様子を基に保護者の方から希望をお伺いし計画書の作成を行っている。	児童一人一人にあった計画書の作成を引き続き行っていく。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	計画書を作成するにあたり個別会議を行っている。	引き続き児童一人一人にあった計画書を作成するために会議を定期的に行っていく。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	日々の申し送りでどのような支援を行うか支援内容の共有する事ができている。	支援内容の共有を日々の申し送りで引き続き行っていく。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	67%	33%	日々の様子を記録に残し把握したうえで支援を行っている。	引き続き日々の支援内容の記録をしっかりと残り支援していきたいと思えます。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	職員間で情報を共有し支援内容の検討を行っている。	引き続き職員間での情報共有を欠かさず行いながら支援内容を検討していく。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	毎月チームで会議を行っている。	引き続き毎月チームで話し合いながら作成していく。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	83%	17%	固定化しないようチームで協力してプログラムを考えている。	引き続き固定化しないように話し合いながら活動プログラムを組んでいきます。	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	83%	17%	その日の利用児童のメンバーや状況に応じて日々の支援内容を考えている。	利用児童のメンバーや状況に応じて個別活動と集団活動を組み合わせ支援していきます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	毎日の申し送りの際にその日の支援について話し合っている。	引き続き支援内容や役割分担の打ち合わせを行いチーム一丸となって支援していく。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	毎朝、申し送りを行い前日の様子について情報共有や振り返りを行っている。	引き続き前日の振り返り、情報共有を徹底して行っていきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	日々の様子をサービス確認表に記録を残している。	引き続きサービス確認表に支援の記録を具体的に残してまいります。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	半年ごとにモニタリングを行い見直しを行っている。	今後も引き続き行っていきたいと思っています。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	管理者が参加してくれている。	今後も引き続き行っていきたいと思っています。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	整っている。	今後も引き続き行っていきたいと思っています。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	67%	33%	双方の情報交換・共有はできている。	今後も引き続き行っていきたいと思っています。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	33%	67%	保護者経由で情報を共有している。	今後は直接共有できる機会を設けていきたいと思っています。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	33%	67%	研修の機会は設けられている。	定期的に研修に参加し支援に活かしていきたいと思っています。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	17%	83%	送迎時等で意見交換を行うことはできている。	機会が多くはないので今後増やしていきたいと思っています。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	共通理解を持っている。	今後も引き続き行っていきたいと思っています。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0%	100%	ご家族様が参加されるような件数の機会は少ないように思う。	職員研修は随時行う事が出来ているので今後取り組みを増やしていきたいと思っています。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	契約時に説明を行っている。	今後も引き続き行っていきたいと思っています。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	モニタリング時等定期的に子どもや家族の意向を確認する機会を設けている。	今後も引き続き行っていきたいと思っています。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	支援内容の説明を丁寧に行い家族の同意を得られている。	今後も引き続き行っていきたいと思っています。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	必要に応じて時間を設けながら行っていると思う。	今後も引き続き行っていきたいと思っています。

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0%	100%	そういった機会があまりなかったように思う。	今後そういった機会を増やしながら支援をしていきたいと思っています。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	その都度適切に対応し、自身で判断できないことは管理者に相談している。	今後も引き続き行っていきたいと思っています。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	インスタやブログなどで普段の活動や様子を発信している。	今後も引き続き行っていきたいと思っています。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	鍵付きロッカーに書類を入れるなどして対応している。	今後も引き続き行っていきたいと思っています。
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	ご本人様がわかりやすいように絵カード等で支援している。	今後も引き続き行っていきたいと思っています。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	50%	50%	年に1度大きなイベントを行っており交流を図っている。	今後も引き続き行っていきたいと思っています。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	マニュアルを作成し保管している。	ご家族様への周知があまりできていないので今後もしていきたいと思う。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	策定し避難訓練等年に数回行っている。	行っていない訓練も今後取り入れていけたらと思います。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	100%	0%	見学・契約時に確認を徹底している。	今後も引き続き行っていきたいと思っています。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	83%	17%	アレルギーがある児童に対しては別のものを用意して対応している。	今後も引き続き行っていきたいと思っています。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	施設や外出先などを事前に調べたうえで支援を行っている。	今後も引き続き行っていきたいと思っています。
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	67%	33%	支援内容等ご家族様に周知させていただいている。	今後も引き続き行っていきたいと思っています。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	毎月MTでヒヤリハットの作成・共有を行い再発防止に努めている。	今後も引き続き行っていきたいと思っています。
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	虐待防止委員会が設置されており定期的に研修が行われている。	今後も引き続き行っていきたいと思っています。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	83%	17%	やむを得ず身体拘束を行うかについては契約時に管理者が説明を行っている。	今後も引き続き行っていきたいと思っています。	